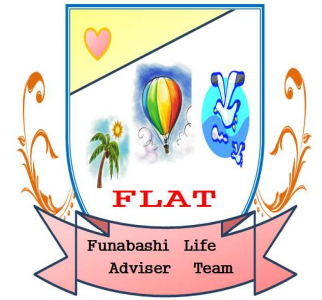


# ふらっと.come!

平成30年4月10日 第56号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」  
〒273-0021 船橋市海神1-31-31 シュネス海神101  
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776  
HP <http://flat-funabashi.com/>  
Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



## 平成30年度を迎えて

船橋市役所 障害福祉課 相談支援係長  
大野 美恵子

少しずつ暖かく過ごしやすくなっておりますが、寒暖差が激しい日もあって、体調を崩しやすい時期でもあります。いわゆる年度初めの繁忙期に入りますが、皆さま体調にはお気をつけください。

障害のある方を取り巻く環境は日に日に変化しており、この4月の障害者総合支援法の改正では、個々のニーズに応じた障害福祉サービスの提供体制の整備や、障害者の就労支援等の推進が掲げられ、一般就労への移行の促進、就労定着の充実等を目的とした制度が加わりました。全体の方向性として、障害者が地域で生活することを支援するための制度の創設・拡充となっております。

なかでも本市では平成31年度の本格運用に向けて、地域生活支援拠点の整備を進めており、これは国より「障害者の重度化・高齢化・親亡き後を見据え、居住支援のための機能を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築」することとし、各市町村または各圏域ごとに必ず1つ整備しなければならないと示されているものです。

船橋市では「面的型整備」として、各種社会資源を連携させることによる体制作りを選択して準備を進めています。拠点稼働時には、基幹相談支援センター「ふらっと船橋」・市内にある福祉サービス事業所・地域生活支援拠点・行政が連携し、緊急対応等の相談及びサービス提供に対応することとなります。

拠点の存在が緊急時の居場所として機能することで、障害のある方、そのご家族の方にとって、不安を取り除き心の支えになることができればと思います。

また、基幹として「ふらっと船橋」の存在が非常に重要となりますので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

## 『FAS-net 会員紹介』(船橋障害者相談支援事業所連絡協議会)

### 本当の声

NPO 法人ラフト

相談支援センターラフト 喜本 由美子

平成20年に立ち上げたNPO法人ラフトは、今年11年目を迎えています。ヘルパー派遣事業所、生活介護事業所、グループホームなどを運営しており、相談支援センターラフトは平成26年6月に開所しました。

私が「相談支援専門員」として大切にしていることの一つに「1回1回のモニタリング訪問を疎かにしない」ということがあります。(当然のことかもしれませんが・・・)最初は「特に悩んでいることはありません」とおっしゃっていた方が、訪問を重ねる中で、「実は・・・」と話して下さることもあります。困っていることを「困っている」と他者に伝えることが難しかったりためらったりする方も多く、「相談」がどんなに「制度」になっても、そこに「信頼関係」が無い場合、本当の「声」はいつまで経っても「声」にならず、時だけが過ぎてしまうのかもしれません。

「計画相談支援」のモニタリングは、他の「相談」事業と違い、「困っている」から訪れるものではなく、「困っていない」ことが前提でも、定期的に訪問が求められ、契約者と関係性を継続して築いていくことができます。その重要性和必要性を今一度意識し、これからも丁寧に業務にあたっていきたいと思います。

## 切り離せないもの

NPO 法人にじと風福祉会

にじと風相談室 吉野 真理子

前身は当事者団体八千代肢体不自由児者父母の会（1997年3月設立）で将来のわが子の生活、活動場所の資金作りから始まりました。コンサートや映画上映会フリーマーケット開催など今に続く資金作りです。長期お休みには公共機関を借りて親子教室を開催。1999年7月には市内に船橋在住の篤志家の建てて下さった建物提供を受けて施設「にじと風」を開所、運営はお母様やボランティアさんによる手作り運営でした。制度を探して頂き一時預かり開始（1999年9月）。特別支援学校卒業生を受け入れるためにデイサービス開始（2000年4月）。父母の会から独立してNPO法人となりました（2001年9月）。2002年3月に現在の京成バラ園の近くに移転し、利用する人たちの増加に伴い現在は放課後事業所4つ生活介護事業所1つを運営しています。それぞれ特色ある4つの事業所が一体となり利用するお子さんの生活を豊かにするお手伝いをしています。にじと風は1フロアで障害も年齢も問わない空間で好きなことを好きな人とする場所、にじと風キッズは主に電車オタクの人たちやゆっくり1人になりたい人の場所、さくらいろの風はウオーターベットやスヌーズレンでリクライゼーション、あかね色の風はボールだけの部屋や高い天井の部屋で思い切り大きなトランポリンやサーキットの遊びが出来る場所と色々です。

お子さんをお預かりしていく中で職員が常に忘れないことは、この遊びの時間を大切にすること、お母様のお話を常に聞き一緒に悩み考え一緒に試してみることです。生活の中で将来を考え夢を持ち実現するために、子どもも保護者も私たちも役割分担しながら一緒に行動することをモットーにしています。そのお子さんのことを一緒に解決していく中にすべての課題や解決法が含まれています。私は相談員だからここまで、放課後活動をしている職員だからここまで、といたくなりますがにじと風ではそれは無しです。だって目の前にいるのは1人のお子さん、1つの家族です。ちょっと難しいのですが職員だって1人ではできなくてもみんなで力を合わせれば何とかなるような。法制度が色々かわってきてよいところもあればなんだか窮屈な時もあります。最近とみに感じるのは、整えばその範疇に入らないともれ落ちてしまい手を差し伸べる隙間が狭くなり手が届きづらいこともあります。法は現実の後追いなので仕方ないかとも思いますが。

1999年ににじと風を開所した時に子どもたちやお母様がつくってくれたひよこ宣言が今でも私たちのミッションです。

ひよこ宣言（'99.7.18）

1. ずうっとこの町で暮らしたい 友だちと一緒にいろんなことをしたい 自分のことは自分で決めたい、自分でやりたい でも、どうしても出来ないことは手伝って下さい
2. 今日ここに私たちの新しい場所が出来ました 私たちは、ここに閉じこもることなくここを基地として新しい一歩を踏み出すことを宣言します

## お知らせ！！

●NPO 法人船橋福祉相談協議会総会

日時：5月18日（金）

18時から

場所：船橋市役所 602会議室

## ●FAS-net 連絡!!

\*総会・例会\*

日時：5月7日（月）

14時から

場所：船橋市役所

602会議室

